

理科カリキュラムを考える会

第13回 全国大会

テーマ

「考えて行動する市民を育てるための科学教育」

2012年 1月 8日(日)・9日(月・祝)

世界の科学教育は、考えて行動する市民を育てるという方向性を持って改革されつつあります。はたしてこのような動きはなぜ出てきたのでしょうか。そのような中で、私たちはいま日本の科学教育をどう変えていくべきなのでしょう。本会は、これらの点について、さまざまな立場の講演者と参加者で議論していきます。

また、「東日本大震災」の被災地ではいま何が起きており、科学教育に携わる私たちはどのような支援ができるのでしょうか。被災地からお越しいただく発表者のポスター展示と、すでに支援活動をしている皆様の支援状況の紹介を行い、いまだできることは何かを議論していきます。

第1日(1月8日) 13:00～18:00(受付開始 12:00)

- 開会の挨拶 滝川洋二(本会理事長・東海大学教育開発研究所)
- 基調講演 「PISA はなぜ、考え行動する教育に踏み切ったのか?」
小倉康(埼玉大学)
- 講演 「討論を通して自分の考えを作り上げる物理教育
—米国物理学会の新しい教育方法—」
土佐幸子(ライト州立大学)
- 講演 「動き出す新学習指導要領—考えて行動する市民を育てる—」
清原洋一(文部科学省・教育政策研究所)
- パネルディスカッション

○ 懇親会(19:00～ 白山にて会費 ¥4,000 程度を予定)

第2日(1月9日) 9:30～16:00(受付開始 9:00)

- 議論「原子力・放射線教育のあり方／理科としての被災地支援」
—被災地からの発表者、支援団体の発表者、参加者によるディスカッション—
岡田 努(福島大学) 数本芳行(仙台市科学館)
栗山恭直(山形大学) 小泉輝武(科学技術振興機構)
佐々木清(郡山市立明健中学校) 山田義春(科学ボランティア研究会)
渡邊 昇(ガリレオ工房)
- 報告「児童・生徒が読んで理解できる教科書作り」
兵頭俊夫 他(小中高理科カリキュラム研究会)
- 分科会
「リテラシーとしての理科教育の実践—開発と保全の授業—」
石渡正志(甲南女子大学)
「自然認識を広げる米国 FOSS の授業デザイナー—水平的思考の視点から—」
白数哲久(昭和女子大学附属昭和小学校)
「中学・力学の授業実践から」
小中高理科カリキュラム研究会 青木夏子(北本市立東中学校)
- 閉会の挨拶 滝川洋二(本会理事長・東海大学教育開発研究所)

申し込み・問い合わせ

次の内容を、電子メールまたは郵送にてお送りください。

【お名前】【ご所属】【ご連絡先 E メールアドレス】【本会会員 / 非会員】
【1日目懇親会(4000円程度)への参加 / 不参加】【2日目弁当(800円) 弁当の要 / 不要】

電子メール: sympo@rikakari.jp 理科カリキュラムを考える会事務局
郵送: 〒195-0063 町田市野津田町 2094-8 小川慎二郎
お申し込みされなくても参加できますが、資料準備のため、是非事前にお申し込み下さい。

ウェブサイト <http://www.rikakari.jp/sympo/>

主催: NPO法人 理科カリキュラムを考える会

協賛: 株式会社 アイカム
株式会社 朝日ネット
株式会社 アルファ企画
株式会社 島津理化
株式会社 第一学習社
株式会社 ナリカ
ケニス 株式会社
新日本電工 株式会社

ポスターセッション発表者

岡田 努(福島大学)
数本芳行(仙台市科学館)
栗山恭直(山形大学)
小泉輝武(科学技術振興機構)
佐々木清(郡山市立明健中学校)
山田義春(科学ボランティア研究会)
渡邊 昇(ガリレオ工房)
らんま先生(石渡学・環境パフォーマー)
小川慎二郎(福岡科学教育研究会)
白数哲久(昭和女子大学附属昭和小学校)

出展企業

株式会社 アイカム
株式会社 朝日ネット
株式会社 アルファ企画
株式会社 島津理化
株式会社 第一学習社
株式会社 ナリカ
ケニス 株式会社
新日本電工 株式会社
独立行政法人
科学技術振興機構

ポスターセッションと企業展示は、両日とも行われます。
参加者はまだ募集中です。

参加費

事前申し込み
一般……3,000円 会員……2,000円 学生……1,000円
当日申し込み
一般……3,200円 会員……2,200円 学生……1,000円
※参加費は当日会場にて

会場

東洋大学(白山第二キャンパス) B棟3階

都営地下鉄三田線「白山」駅 A1 出口から徒歩 6 分
東京メトロ南北線「本駒込」駅 1 番出口から徒歩 10 分



地図の出典: 東洋大学 HP